

技術開発事例

受託研究 車載系モニターランプ表示器のアイコンの研究

【受託研究先】 株式会社 アルフォニック電子

【研究の経緯】

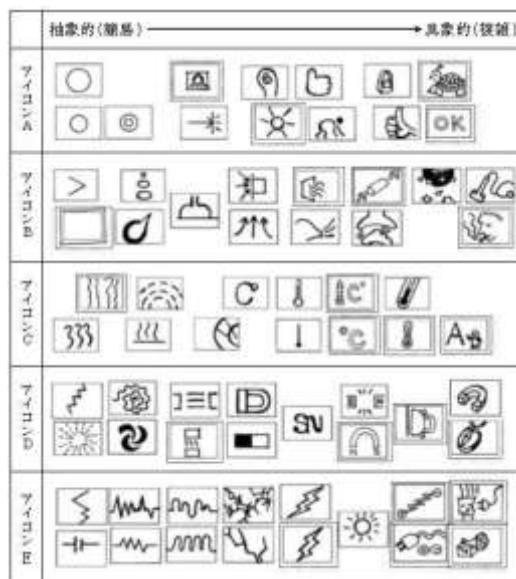
対象企業では、ハード基板の設計からシステム構築まで幅広い分野で自社製品開発を手がけています。今回、新たに車載系モニターランプ表示器の開発を行うにあたり、動作表示の役割を担うアイコンの検討を行いました。

今回開発される製品には、誰が使っても解り易く操作性の良いデザインが求められています。当センターでは、関連情報の収集などからこの点を検討し、アイコンデザインの作成を行いました。

【研究の内容】

研究にあたり以下の調査を行いました。

- ・企業におけるアイコンデザインの考え方についての聞き取り調査
- ・IPDL(特許電子図書館)による意匠登録調査
- ・類似機器のアイコン調査
- ・日本人と外国人数名ずつを対象とした単語に対するイメージ調査



調査の結果以下の点が明らかになりました。

(図：日本人と外国人のイメージの描写結果)

①操作状況を正確に伝えるための表示方法 (アイコンの配置・デザインなど)

世界中で使用される機器の場合、装置を使用する操作者は主に専門知識を有する者であることや、文化の差異による誤認が起こらないようにする為にシンプルかつ認識し易いデザインが求められている。

②暗闇でも認識しやすいデザイン (視認性など)

視認性を高める為には、アイコンの表示色とランプの点灯色とのコントラストを明確にするなどの工夫が必要である。またランプ色を阻害しないよう、線の太さや空間のバランスに注意する必要がある。

③言語形態の異なる国においても問題なく操作できるようにする工夫

日本人・外国人数名に、単語に対するイメージを描いてもらったところ、日本人に比べ外国人の方がより具象的な表現をする傾向が強い。

以上を検討し制作したアイコンをもとに、製品化を計画しています。

基礎となった事業 平成 21 年度 オンリーワン技術開発支援事業 (受託研究)

担当部門 工芸技術部門 技師 望月 聡美

tel : 0296-72-0316